

『聖女の姉が棄てた元婚約者に嫁いたら、蕩けるほどの溺愛が待っていました』の漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	『聖女の姉が棄てた元婚約者に嫁いたら、蕩けるほどの溺愛が待っていました』の漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	『聖女の姉が棄てた元婚約者に嫁いたら、蕩けるほどの溺愛が待っていました』を読んだことのある20代～50代の男女22名
調査期間	2026年1月24日～2026年1月25日 2026年2月13日 2026年4月15日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/seizyonoanegasutetamotokonyakusya/

■アンケート項目

Q1:年代と性別を教えてください。

Q2:『聖女の姉が棄てた元婚約者に嫁いたら、蕩けるほどの溺愛が待っていました』を実際に読んだ感想を教えてください。

Q1:年代と性別を教えてください。

20代男性	0人
20代女性	1人
30代男性	0人
30代女性	1人
40代男性	0人
40代女性	11人

50代男性	8人
50代女性	1人

Q2:『聖女の姉が棄てた元婚約者に嫁いたら、蕩けるほどの溺愛が待っていました』の感想を教えてください。

聖女の姉が棄てた元婚約者に嫁いたら、蕩けるほどの溺愛が待っていました 1話	早々にメイナードを見捨てたアンジェリカに思うところがあります。しかし、アンジェリカの言い分にも一理あるんですよね。一概にアンジェリカを責めるわけにもいかず、難しい問題だなんて感じました。一方で、気になったのはルディの様子です。アンジェリカの名前を出した瞬間、その態度は豹変しました。普通に別れ話をしたのであれば、ここまで悪感情は抱かれていないはず。別れ際にアンジェリカが何をやらかしたのか、気になりました。
聖女の姉が棄てた元婚約者に嫁いたら、蕩けるほどの溺愛が待っていました 1話	実は密かに憧れていたメイナードの元へ代打とはいえ嫁げることになったフィリアが、そのことをこっそり喜ぶ姿が可愛いです。その後直接彼と対面し、そこに待っていた現実には一度は彼女も打ちのめされることとなります。それも無理のないことで、彼は現在寝たきりで体を動かすこともままならないんですから。結婚生活＝介護では絶望と苦勞しか待っていません。自分も同じような状況なら姉のアンジェリカのように逃げてしまうかも、とってしまいました。物語は始まったばかりでこれからどうなるかわかりませんが、できればハッピーエンドで終わってほしいですね。あ、もちろん姉は除いてですが、彼女にはメイナードとフィリアをひどい目にあわせた分の報いを受けてほしいです。
聖女の姉が棄てた元婚約者に嫁いたら、蕩けるほどの溺愛が待っていました 1話	お姉さんは聖女であると言っても、家でのわがままっぷりや学園での妹への暴言の数々を見ていたら、性悪聖女って周りから囁かれそうなものだけれど、それだけ主人公のオッドアイとか魔力が弱いというのが、この国ではデメリットになるんですね。もしかしたら聖女のご機嫌を損ねると大変だから、ヘイトが主人公に向いているのかもだけれど。ただメイナード様が、見た目的にはそんなに重症に見えないので、何かきっかけで治りそう。
聖女の姉が棄てた元婚約者に嫁いたら、蕩けるほどの溺愛が待っていました 1話	メイナード様の弟だというルディが、フィリアと顔を合わせた時は普通の態度だったのに、彼女が聖女であるアンジェリカの妹だと知ったとたん怒りのこもった表情になって帰れと言いついたのは何故なのか、とても気になりました。アンジェリカがメイナード様になにかしたのか、それともフィリアの悪評を彼女から吹き込まれたりしているのか、真相がはやく知りたいです。
聖女の姉が棄てた元婚約者に嫁いたら、蕩けるほどの溺愛が待っていました 2話	フィリアのメイナードを想う気持ちが素敵でした。魔法師団長や英雄といった肩書きではなく、メイナードの人柄に惚れこんでいることが伝わってきます。この二人には幸せになって欲しいですね。気になったのはメイナードに掛けられた呪詛です。聖女と呼ばれるアンジェリカですら、解呪は無理でした。普通に考えれば、どうすることもできないでしょう。しかし、フィリアには研究所で働ける程の知識があります。フィリアならなんとかできるかもしれませんし、期待したいです。
聖女の姉が棄てた元婚約者に嫁いたら、蕩けるほどの溺愛が待っていました 2話	姉が態度が悪かったら妹だってって思っただけで当然ですよね。でも姉妹でも全然性格が違う。フィリアの優しさはちゃんと伝わる。まずはルディから、一人一人順に味方をつけていくことで、幸せを手に入れてほしいです。能力はないけれど、研究活動を地道に続けていたからこそ、フィリアの力が生かされる場面が出てきそうでよかったです。
聖女の姉が棄てた元婚約者に嫁いたら、蕩けるほどの溺愛が待っていました 2話	ルディがフィリアに対して拒否反応を見せた理由が、アンジェリカの心無い暴言だと判明して、フィリア自身のことを誤解して嫌悪しているわけではないことにホッとしました。しかもメイナード様もアンジェリカのことを信じていたり愛していたりするわけではなく、むしろフィリアにかなり好意を持っているようなので、嫁ぎ先でもひどいことをされることにはならなそうで安心しました。
聖女の姉が棄てた元婚約者に嫁いたら、蕩けるほど	フィリアのメイナードを想う気持ちがどれほど大きいか感じ取れました。伯爵家ですら、フィリアは肩身の狭いおもいをしてきたのです。フィリアにとって、研究所は心のオアシスであったことは間違いないと思います。そんな大切な研究所を離れてでも、メイナードを救おうとしていたわけです。本当に

どの溺愛が待っていました 3話	メイナードのことを愛しているんだなって感じました。
聖女の姉が棄てた元婚約者に嫁いたら、蕩けるほどの溺愛が待っていました 3話	アンジェリカや両親からは無能なお荷物扱いされてしまっているフィリアですが、実は研究所の所長であるイアン様と肩を並べるほど頭が良いようで少し驚きました。そして、きっとなんとか家族に自分のことを認めてもらいたくて、ひたむきに努力して知識を身に着けたんだらうなと思って、切なくなりました。メイナード様にかげられた呪詛が解けて、幸せになる姿がはやく見たくなくなりました。
聖女の姉が棄てた元婚約者に嫁いたら、蕩けるほどの溺愛が待っていました 3話	聖女である姉のアンジェリカが妹をさげすみ見下していたせいで、フィリアの周囲には味方が誰もいないのだらうなと思っていたので、彼女に対して好意的で、積極的に協力までしてくれる新キャラ・イアン様の登場と、彼以外にもフィリアの力になりたいと考えている人が何人もいるという事実、我が事のように嬉しくなりました。
聖女の姉が棄てた元婚約者に嫁いたら、蕩けるほどの溺愛が待っていました 3話	嫁いだ先の相手は病気ではないものの、魔王からの呪いで起き上がることもできないような状態。そりやお姉さんが棄てたくなるのもわからないでもないかも。肉食女子という言葉が当たり前となっている中で、強いヒロインの作品は多数ありますが相手の男性がこれほどまで弱り切っているって状態は珍しい。早く元気な姿が見たいです。
聖女の姉が棄てた元婚約者に嫁いたら、蕩けるほどの溺愛が待っていました 4話	メイナードがフィリアを聖女と呼びたい気持ちは痛いほどわかりました。アンジェリカの回復魔法は、聖女と呼ばれるだけあって凄いものなのでしょう。しかし慈愛に満ちた存在という意味でなら、フィリアこそが聖女だと言えます。メイナードはフィリアを天使のようだと揶揄していましたが、本当にその通りだと感じました。
聖女の姉が棄てた元婚約者に嫁いたら、蕩けるほどの溺愛が待っていました 4話	起承転結でいうとあまり大きな出来事が起こらない4話、でも何も起こっていないわけではない。ついにタイトルにある溺愛の片鱗が出て来ました。好きな人ができてその人と共に生きてゆきたい。そう思ったら少しでも元気が出てくるのではないのでしょうか。やっぱり気力がないとダメでしょう。ヒロインもより屋敷での居場所ができた気がします。
聖女の姉が棄てた元婚約者に嫁いたら、蕩けるほどの溺愛が待っていました 4話	タイトルに溺愛ってあるけれど、思いがけず婚約することとなった二人の関係はずっと微妙なままでした。何しろ相手は弱り切ってるし。でもやっと溺愛の片鱗が見えて来ましたね。早くラブラブな姿を見たいですね。そうなるにはとにかく回復しないと。元気がないと恋どころじゃありませんから。でも回復を促すのもやっぱり恋の力です。
聖女の姉が棄てた元婚約者に嫁いたら、蕩けるほどの溺愛が待っていました 4話	わがままな姉のせいで不遇な人生を送ってきたヒロイン。結婚相手だって自由に選ぶことができず、一人孤独に戦ってきて。でもようやく居場所ができた。幸せが訪れた予感がします。使用人が仲間になってくれています。婚約者らしくそこに愛が生まれてきました。ずっとハラハラと見守ってきた身としては、とてもうれしくなる回です。
聖女の姉が棄てた元婚約者に嫁いたら、蕩けるほどの溺愛が待っていました 5話	フィリアは聖女に関する記述を御伽話のようなものだと考えていました。しかし、これって真実のような気がします。というのも、アンジェリカは回復魔法が優れているから、聖女認定されているだけ。しかし、聖女は本来、慈愛に満ちた存在を指すのだと言います。この理屈からいうと、聖女ってアンジェリカではなくフィリアをさすのではないのでしょうか。フィリアの回復魔法を受けたメイナードの体調がよくなっていたことから、それが伺えます。果たしてどちらが本当の聖女なのか、気になりました。
聖女の姉が棄てた元婚約者に嫁いたら、蕩けるほどの溺愛が待っていました 5話	フィリアが、メイナード様からのお菓子のプレゼントに驚いて、素直に喜んでる姿がとても可愛らしくてキュンキュンしてしまいました。メイナード様の言葉の言い回しも素敵で、フィリアが惚れてしまうのも無理はないと思いました。フィリアが一生懸命考えている事に気を遣い、話しかけるタイミングを見計らっているメイナード様が優しいと思いました。

<p>聖女の姉が棄てた元婚約者に嫁いたら、蕩けるほどの溺愛が待っていました 5話</p>	<p>才女なフィリアでも古代語で記された資料を読み解くのはなかなか簡単ではないようで、竜に関してはまだまだ謎ばかりで呪詛が解ける気配は一向にありませんが、反対にメイナード様とフィリアの仲はゆっくりとですが着実に深まっていて、嬉しいです。お互いを見つめる視線に愛情がこもっていることが伝わってきて、思わず口もとがほころびました。</p>
<p>聖女の姉が棄てた元婚約者に嫁いたら、蕩けるほどの溺愛が待っていました 5話</p>	<p>姉・アンジェリカの身勝手さにはうんざりしてしまいますが、自分が他の男性とはやく結婚するためにメイナード様とフィリアとの結婚を急かすくらいなら、この先メイナード様の呪詛が解かれても、彼を返せだとか相手を交換しろだとか言い出したりは流石にしないと思われるので、ちょっとだけ安心しました。でもやっぱりアンジェリカには腹が立つので、いつかその聖女らしからぬ性格が民衆に知れ渡って、白い目を向けられるぐらいの報いは受けて欲しいです。</p>
<p>聖女の姉が棄てた元婚約者に嫁いたら、蕩けるほどの溺愛が待っていました 6話</p>	<p>ルディの誤解が解けて何よりでした。まあ、ルディの気持ちもわからないではないんですよね。メイナードが呪詛を受けた途端、アンジェリカですら離れていったのですから。でもフィリアはそういう人ではないとわかったわけですし、これからは手を取り合って解呪の方法を調べてくれればなって思います。</p>
<p>聖女の姉が棄てた元婚約者に嫁いたら、蕩けるほどの溺愛が待っていました 6話</p>	<p>アンジェリカからの手紙には驚きました。相変わらず身勝手だとは思ったものの、フィリアとしては結果オーライとでもいいましょうか。メイナードとの結婚がどうなるのか注目したいです。</p>
<p>聖女の姉が棄てた元婚約者に嫁いたら、蕩けるほどの溺愛が待っていました 7話</p>	<p>ささやかながらも、無事に結婚式を挙げる事ができて本当に良かったと感じました。形式だけのものではなく、フィリアとメイナードが互いを想い合った末の結婚である点が、より一層心に響きます。さらに、これまでフィリアを毛嫌いしていたルディまでもが賛成してくれたことで、周囲からも認められた関係になったのだと実感できる、温かなシーンでした。</p>
<p>聖女の姉が棄てた元婚約者に嫁いたら、蕩けるほどの溺愛が待っていました 7話</p>	<p>フィリアに届けられた手紙の内容は非常に気になる場所です。もしドラゴンが生きているのだとすれば、死を悟った魔物が命と引き換えに呪詛をかけるという前提そのものが揺らぐことになりそうです。そうすると、メイナードにかけられた呪詛は一体何なのでしょう。今後どのように明かされていくのか、ますます目が離せません。</p>

漫画全巻の部屋

by (株)グリュックス